

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 30年 12月 29日

事業所名 こどもプラス久米教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		運動が出来る空間と、静かに過ごすことが出来る空間と、わかれています。それぞれの部屋をもっと生かせる工夫を、今後も検討していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4	0	2		保育士等、有資格者を適切に配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	2		室内はフラットにしており、怪我防止の為ジョイントマットを敷いています。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	0		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		毎年実施しています。頂いた意見をもとに、改善に向けて話し合いを行います。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	2		公開予定です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	6		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0		研修は定期的に受け、報告書にして職員間で共有しています。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		日々の様子を踏まえてニーズをくみ取り、計画書に反映させています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	3		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		こどもの特性や興味に合わせて設定しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		休日は外出等を計画し、実施しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		一人ひとりのニーズや特性に合わせて個別課題や集団活動への取り組みを行うようにしています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0		毎日、提供時間前にミーティングを行い、当日の打ち合わせをしています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	翌日に申し送りの時間を設けているが急を要する時にはその都度ミーティングを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	毎日記録を行い、指導内容や支援方法を検討しています。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	定期的なモニタリングで、目標を達成したか、未達成かの確認と、次の目標について話し合っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	管理者・児童発達支援管理責任者が参加し、その後職員間で共有しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	0	送迎時に学校での様子をうかがい教室での様子などを情報を提供しながら共有に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	1	かかりつけ医と、連絡が取れる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	1	5	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	1	研修には積極的に参加し、助言をもらって支援を検討しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	5	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	0	4	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	利用時は連絡帳を通してその日の様子を細やかにお伝えしています。また、送迎時に状況を伝え、情報共有をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	1	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	見学时に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	送迎時などにご家庭での様子や気になる事等うかがっています。電話での相談も管理者が対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	6	現時点では父母会の実施はできておりませんが、今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情窓口を明確にし、迅速に対応できる体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	毎月おたよりを作成しイベントをご案内しています。連絡帳には日々の様子や成長がわかるよう写真を用いています。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	鍵付き書庫に保管し、取り扱いには注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	個々にあったコミュニケーション方法を検討し実践しています。また保護者に対して直接確認すべき事は訪問や電話にて確認しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	1	近所の高齢者施設の行事に参加し交流を図っています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	マニュアルを事業所内に掲示し、閲覧できるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	年2回の防災訓練を実施しています。また防災施設での体験を通して学ぶ機会も設けています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	外部研修を受講し、職員間で共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	ヒヤリハットは職員間で共有し、防止策の検討を行っています。